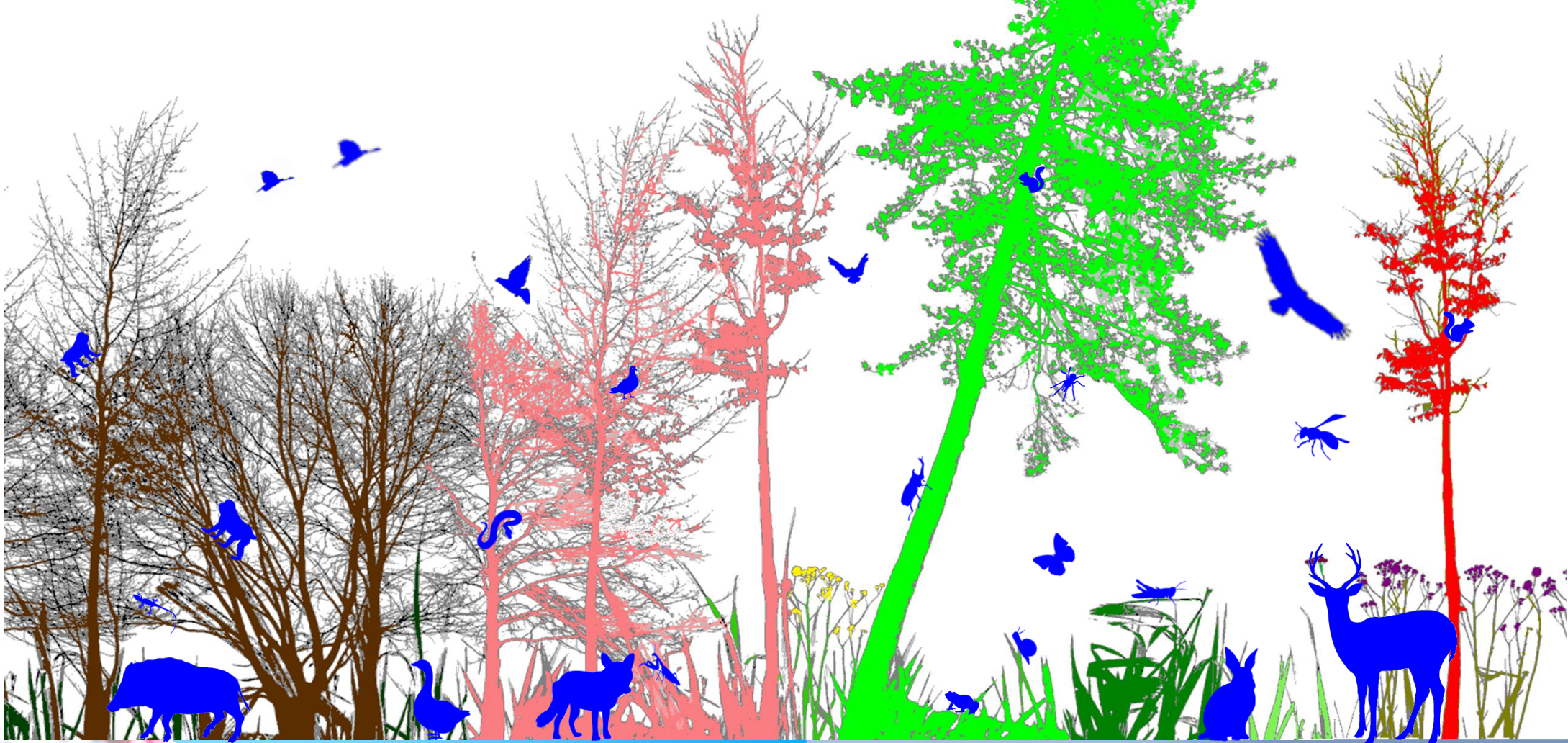




## くるめ生きものプラン行動リスト

私たちにもできる生物多様性を守る取り組み

自然のめぐみを未来へつなげよう

編集・発行

久留米市 環境部 環境保全課

〒830-0042 福岡県久留米市荘島町375番地

TEL:0942-30-9043

FAX:0942-30-9715

E-mail:kanhozen@city.kurume.fukuoka.jp

和名 クルメツツジ

ニッポンバラタナゴ(学名 クルメウス)

## ■生物多様性とは

生物多様性とは、たくさんの生きものがつながりあって暮らしていることです。

私たちは、水や空気はもちろん、食べ物や着る物の材料、木材、薬の原料など、いろいろな生きもののめぐみのおかげで生きています。

私たちの暮らしは、さまざまな生きもののつながりの中で成り立っているのです。

## ■生物多様性の危機

今、この生物多様性が、危機にさらされています。  
地球上には3,000万種もの生きものがいると言われていますが、恐竜が滅んだ時よりも、はるかに速いスピードで絶滅が進み、主に私たち人間の活動の影響で、1年間に4万種もの生きものが絶滅していると言われて

います。  
今ある自然を守るためには、生きものたちを絶滅から守っていくことが大切です。

生きものを絶滅から守ることは、私たちの暮らしを守ることにもつながっているのです。

身近なところから行動することが、生物多様性のめぐみを受け続けられるための第一歩。

今日から生物多様性を守るために行動しましょう！

## 行動 1

### 触れあおう

- ☐ 家の周りを散歩しよう …3P
- ☐ 山や川に行き遊んでみよう …3P
- ☐ 身近な自然を発見しよう …3P
- ☐ 動物園、植物園などに行ってみよう …4P
- ☐ 四季を感じてみよう …4P

## 行動 2

### 学ぼう

- ☐ 身近な草花や虫などの名前を調べてみよう …5P
- ☐ 自然のめぐみを調べてみよう …5P
- ☐ 環境の違いによる生きものを調べてみよう …5P
- ☐ 外来種による被害を調べてみよう …6P
- ☐ 生きものが減っている理由を調べてみよう …6P

## 行動 3

### 守ろう

- ☐ 生きものにやさしい商品を選ぼう …7P
- ☐ ごみのポイ捨てはやめよう …7P
- ☐ 公共交通機関や自転車を使おう …7P
- ☐ ペットは最後まで飼おう …8P
- ☐ 自然を守る活動をしてみよう …8P

## 行動 4

### 活かそう

- ☐ 地元で生産されたものを地元で食べよう …9P
- ☐ 手作り堆肥で野菜を作ろう …9P
- ☐ 自然からのめぐみを大切にしよう …9P
- ☐ 緑のカーテンを作ろう …10P
- ☐ 使い捨ての物は使わないようにしましょう …10P

## 行動 5

### 広めよう

- ☐ 家族や友達に伝えよう …11P
- ☐ 写真や絵にしてみよう …11P
- ☐ 観察会や自然環境保全活動に参加しよう …11P
- ☐ 体験したことを広めよう …12P
- ☐ 生きものを守るためにできることを広めよう …12P



## 触れあおう

身近な自然や生きものに興味をもってみよう



私たちの生活は、昔より便利で住み良いものになりました。しかし、その一方で、多くの生きものがいなくなっています。

自然観察会や自然体験に参加するなど身近な自然や生きものとたくさんふれあい、身体で感じてみましょう！

### □家の周りを散策してみよう

家の周りにも、たくさんの自然があります。

田んぼ、水路、公園など、そこにいる生きものを観察して、どのような生活をしているのか観察してみましょう。

### □山や川に行ってみよう

高良山や筑後川などにはたくさんの自然があり、そこは必ず植物や、虫、鳥、魚、動物たち…色々な生きものが発見できると思います。自然の中で、遊んでみましょう。

※川や山へ行く時は、必ず大人と一緒にいきましょう！

### □身近な自然を発見しよう

家や学校、公園の樹木や草花に来る鳥や虫を探してみよう。

身近な私たちの暮らしの中に生きものたちが暮らしています。

### □動物園、植物園などへ行ってみよう

鳥類センターやくるめウスなどに行って、生きものを観察してみよう。

たくさんの種類の生きものが、様々な形をしていて、いろいろな暮らしをしています。

### □四季を感じてみよう

四季の移り変わりで、自然の特色や生きものの生態を実感することができます。

自然の移り変わりをより身近に感じてみましょう。



街なかでも見られる生きもの 見つけたら□にチェックしよう



ハクセキレイ



キアゲハ



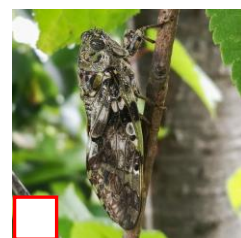
ニホントカゲ



アオドウガネ



アオスジアゲハ



ニイニイゼミ



ヒヨドリ



ホトケノザ

# 学ぼう

人と生きものをつなかりを調べよう



私たちの暮らしは、生きもののめぐみによって支えられています。

そんな中で、最近では「絶滅してしまうかもしれない」と言われる生きものが増えています。

なぜ、生きものがいなくなったり、生きものが住める環境がなくなったりしているのか、調べてみよう！

## □身近な草花や虫などの名前を調べてみよう

身近にいる生きもののなかで、興味を持った生きものについて、インターネットや図書館などで調べてみよう。



## □自然のめぐみを調べてみよう

私たちは、空気、水、食物など、自然からのめぐみを受け生活しています。自然の大切さや他にも、私たちの暮らしにどんな自然のめぐみがあるか調べてみよう。



## □環境の違いによる生きものを調べてみよう

街なかや、山地、川、田園など、生きものたちが暮らすのに、いろいろな環境があります。それぞれの場所で暮らしている生きものの違いを調べてみよう。

## □外来種による影響を調べてみよう

外来種は、もともとその地域にいなかったのに、人の手によって持ち込まれた生きものです。外来種のなかには、まわりに悪い影響をおよぼす種類もあります。どのようにして持ち込まれたのか、調べてみよう。



## □生きものが減っている理由を調べてみよう

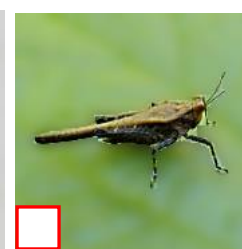
人間の活動によって、空気や水を汚したり、生きものが住める環境を壊しているからかもしれません。なぜ、生きものが減っているのか調べてみよう。



田園で見られる生きもの 見つけたら□にチェックしよう



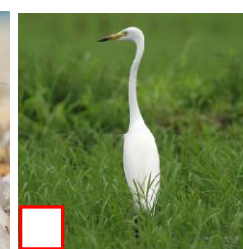
ホウネンエビ



ハネナガヒシバタ



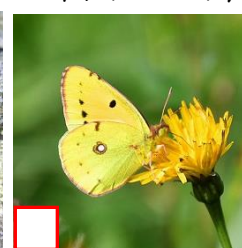
メダカ



チュウサギ



ケラ



モンキチョウ



マイマイカブリ



シオカラトンボ

# 守ろう

身近な自然や生きものを守っていこう



豊かな自然を守るために、私たちができることは何でしょうか？「身近な生きものを大切にする」「ペットを野外へ放さず最後まで飼う」といった一人ひとりの行動の積み重ねが重要です。未来のために、生きものを守りましょう。

## □生きものにやさしい商品を選ぶ



私たちが生活するうえでできることは、生きもののことを想って行動すること。生きものにやさしい商品を調べて、環境への影響の少ない商品を選ぶ。

## □ごみのポイ捨てはやめよう



ごみのポイ捨てをすると、水や土が汚れ、生きもののすみを奪うことにつながります。地域の清掃活動に参加して、生きもののことを考えた行動をしてみよう。

## □公共交通機関や自転車を使おう



近所の外出は、車でなく、なるべく歩いて行ったり、自転車を利用するなど、地球温暖化の原因の一つである、二酸化炭素を出さない取り組みをしてみよう。

## □ペットは最後まで飼おう



ペットの中には、もともと地域の自然には生息していない生きものもいて、ペットを捨てたり、逃がしたりしすると、もともといた生きものに大きな影響を与えてしまいます。最後まで責任をもって大切に飼おう。

## □自然を守る活動をしてみよう



守るのもなくすのも人の活動によって変わります。自然を守る活動をみんながすることによって、それが大きな効果へとつながります。自分ができるような活動から始めてみましょう。

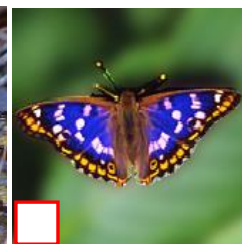
川で見られる生きもの 見つけたら□にチェックしよう



アオモンイトトンボ



キセキレイ



コムラサキ



ツチフキ



トノサマバッタ



スジエビ



オオヤマトンボ



カンムリカイツブリ



# 活かそう

自然と生きもののめぐみを活かそう



私たちが快適に生活するためには、どうしてもエネルギーが必要です。

自然のめぐみを活かして、暮らしのエネルギー消費の削減と地域の自然のめぐみを上手に有効活用してみよう。



## □地元で生産されたものを、地元で食べよう

生産地から食卓までの距離が短いから、食物を運ぶために必要なエネルギーも削減でき、環境に優しく、生きものを守ることに繋がります。地域、季節の生きものたちのめぐみをいただきましょう。



## □手作り堆肥で、野菜を作ろう

家庭から出される燃やせるごみのうち、約35%が生ごみです。微生物の力によって分解されてきた堆肥を使って野菜などを作ってみよう。



## □自然からのめぐみを大切に使う

私たちの暮らしに欠かせない水や食料、衣服、医薬品などをはじめ、さまざまな自然のめぐみを受け取っています。生態系からもたらされるめぐみによって支えられていることに、感謝しよう。

## □緑のカーテンを作ろう



日差しを遮り、室内温度の上昇を抑えられるので、エアコン等の使用を少なくすることができます。植物を育てる楽しさを味わうこともでき、緑のカーテンに、生きもの達も集まってきます。

## □使い捨てる物はなるべく使わないようにしましょう

毎日の生活の中で、「最後まで大切に使う」「再利用できるものは繰り返し使う」「資源になるものはリサイクルする」「どうしても使えないものだけごみに出す」といった取り組みをしよう。



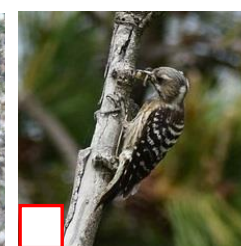
スズムシバナ



ヨツボシケシキスイ



サワガニ



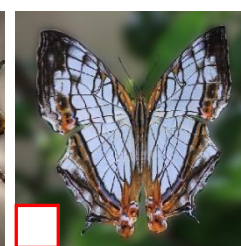
コゲラ



イカル



ミヤマクワガタ



イシガケチョウ



ヤマトタマムシ

# 広めよう

一人ひとりが行動するためにも広めよう



生物多様性の保全<sup>ほぜん</sup>に取り組むには、一人ひとりが生物多様性<sup>りかい</sup>についての理解や関心を持って行動することが求められます。生物多様性を守るためには1人でも多くの方<sup>きょうりやく</sup>の協力が必要です。「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためにも一緒に行動する仲間を増やしましょう。

## □家族や友達<sup>ともだち</sup>に伝えよう

「触れあおう」で発見・体験したことや、「学ぼう」で調べた自然のすばらしさや生きものがなぜ減っているのかなどを家族や友達など身近な人に伝えてみよう。



## □写真や絵にしてみよう

季節の移り変わりの風景<sup>ふうけい</sup>や、今ある身近な自然の風景を写真や絵などに残して、自然の魅力<sup>みりょく</sup>をみんなに伝えよう。



## □観察会や自然環境保全活動に参加しよう

自然観察会や地域の清掃、自然環境保全活動団体の取り組みなど、身近に行われている取り組みに関わってみよう。



## □体験<sup>たいけん</sup>したことを広めよう

自然のめぐみで、わたしたちの生活が成り立っています。自分が体験したことをみんなに伝え、みんなにも体験してもらいましょう。自然や生きもののことを考える人を増やすことにつながります。

何ができるかな？

## □生きものを守るためにできることを広めよう

日常生活のあらゆる場面において生物多様性への配慮<sup>ほい</sup>して行動することが必要です。今日からできることを始めて、みんなに広めよう。

## 外来種対策について

最近、何かと話題となっている『外来種』が、市内の身近なところでも見かけるようになりました。

市内には、豊かな自然があり、まだ外来種が生息していない場所もあります。

生きものの暮らしを守るために、3つの原則を守って外来種をこれ以上<sup>ひょう</sup>拡げないようにしましょう。

### 外来種被害予防三原則

- ・入れない
- ・捨てない
- ・拡げない

1. 悪影響を及ぼすかもしれない外来種をむやみに日本に『入れない』
2. 飼っている外来種を野外に『捨てない』※逃がさない
3. 野外にすでにいる外来種は他の地域に『拡げない』

## 優れた生態系を有する地域に行ってみよう

### 城島町の浮島地域

タコノアシ(植物)が見られ、ウナギやベンケイカニなどもいるよ。



### 鎮西湖付近

コムラサキなどのちょうや、アリアケギバチ、オヤニラミなどの魚もいるよ。



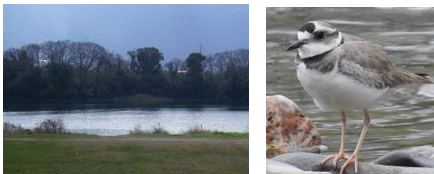
### 広川の河口付近

サギなどの鳥が見られヤマノカミ、エツなどの魚もいるよ。



### 筑後川中流域(恵利堰周辺)

いろいろな魚がいて、コアジサシやイカルチドリなどの鳥も見られるよ。



### 高良山周辺

天然記念物のキンメイモウソウチクが見られ、オオタカやハヤブサなどもいるよ。



### 竹野地区の里地里山

なかなか見られないヒナモロコが自然に増えるように、地域で取り組んでいるよ。



## MEMO

### 市民公益活動団体の取り組み

久留米市は、筑後川と耳納連山の自然のめぐみを受け、多くの種類の野生生物が生育・生息しています。この豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、多くの市民団体の皆さんが活動されています。市では、多くの人たちが身近な場所で保全活動の取り組みに参加し、活動を広げていくことを目的に、久留米市のHPに団体の活動紹介やイベント情報を発信しています。

QRコード

自然環境保全活動に興味がある方、参加したいという方は、是非ご覧下さい。

一緒に活動するはい!!



※お願い 川や山へ行く時は、必ず大人と一緒に行きましょう!